



京都 YWCA

5 2024

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

子ども・若者の居場所「Yここ Kitchen」は 3年目に入りました！



2022年4月にオープンした子ども・若者の居場所「Yここ Kitchen（以下Yここ）」は、今年で3年目を迎えることができました。

開設当初は、京都YWCAが運営する自立援助ホーム「カルーナ」の退所者が数名ほど参加するだけでしたが、回を重ねるごとに、他機関からの紹介やSNSを見て来られる若者が増え、今では1回平均10名前後の若者が参加しています。2022年度の参加者総数が約1100人、2023年度の参加者総数は1400人を超えました。

また、年代別でみると20代の若者が多く、いかに20代の若者が居場所を求めているかがわかりました。

新たに中高生のための居場所をオープン

その中で、「Yここみたいな居場所にもっと早く出会いたかった」という声を時々聞くことができました。カルーナの入居者やYこの参加者は、全員ではありませんが引きこもりや不登校を経験している方が多いと感じます。その頃のしんどかった出来事や辛かった気持ちを聞き、何とか早い段階で「ありのままの自分でいられる場所」「誰かご飯が食べられる場所」「ふらっときてゆっくりできる場所」に出会う機会を作れないものかと思いました。そこで、この春から中高生を対象とした「ティーンのためのYここ」をオープンすることにしました。

Yここは月、水、木、土曜日の週4回、15:00～20:00で開催しており、対象年齢は「小学生から35歳」としています。その中には社会的養護を経験した家族、また30歳以上の方の参加もあります。中高生もちろん参加OKなのですが、あえて中高生が安心して来られる居場所になるよう、月曜日に中高生のための時間設定を行うことにしました。SNSの繋がりがだけでなく、対面というリアルな関係性を、安心・安全な空間の中で作っていきたいと思います。まだ思案中ですが、学習の支援やプログラムなどの企画を入れながら、少しでも大人になっていくための経験を積めるような場所となればと思っています。

スタッフも心の余裕をもって参加者を迎えたい

また、これまでを振り返った反省点として「スタッフの慌ただしさ」もあったように思います。そこで、木曜日は手の込んだ夕食ではなく軽食という形の提供に変え、参加者もスタッフものんびり、ゆっくり過ごす日とすることにしました。まだ3年目に突入したばかり。今年度もWAM（独立行政法人福祉医療機構）の助成を受けながら継続していきますが、どのように財政的に成り立たせて自主運営をしていくことができるか、そしてどう支援者を増やしていくかがこれからの大きな課題です。

(三上 彩)



参加者とお出かけ BBQ プログラム



賀茂川でのお出かけプログラム

京都YWCA ミッション推進活動部門運営委員会 新年度会長あいさつ

昨年度、京都 YWCA は創立 100 周年を迎え、記念誌発行・式典・募金・イベント等、100 周年実行委員の方々のご尽力で多くの取り組みがなされました。これらの取り組みを通して、私たちは先人の足跡を辿り知恵を学び、これからへの思いを深めていきました。

「花が咲き実りの収穫の後には、新たに種を蒔かなければ花も実も育ちません」。前会長の言葉です。今年度は 100 周年という大輪の花を咲かせた後、まさに種を蒔く時です。そして、蒔いた種からしっかりと発芽させ、その芽を守り育てる時でもあります。

すでに、時代の変容や女性の生き方の変化に伴い、京都 YWCA にも組織変革という種が蒔かれています。運営委員会等の組織改革案、組織運営に携わる人材の育成や確保への取り組みを行う部門の常設化案が昨年度の定期会員集会で承認され、会則改正がなされました。2025

年度の実施に向けてスムーズな受け渡しができるよう、諸準備を始めなければなりません。また、京都 YWCA に関わる皆さまが、各委員会・活動グループ、事業等それぞれの活動の場で、仲間と協力・協働し新しい種を蒔かれることを願っております。時に困難や壁に当たっても、会員組織の強みを生かし先人の知恵に学び乗り越え、ますますエンパワーされることでしょう。



今年度、会長を務めさせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。この一年も京都 YWCA の長い歴史を守り繋げる一年となるよう精一杯努める所存です。皆さまのお力を賜りますようお願いいたします。(三木 みや子)

第 68 回国連女性の地位委員会 (CSW) 参加報告

CSW は毎年 3 月に米国・ニューヨーク国連本部で開催され、各国政府代表者が世界中の性差別の課題と必要な行動を協議・決議する場であると同時に、世界中の数千の NGO から参加者が集う場です。日本 YWCA は毎年、若い女性を CSW に派遣しています。

今年行われた第 68 回 CSW は、「貧困に対処し、ジェンダーの考えとともに制度を強化、資金調達をすることで、ジェンダー平等とすべての女性と少女のエンパワメント達成を促進する」ことを優先テーマとして掲げていました。日本 YWCA からは 7 名(京都 YWCA から 2 名)が参加し、ワークショップ『日本の若い女性が抱える生きづらさ』を主催しました。以下、参加メンバーの感想です。

私たちのイベントが終わった瞬間、とても充実した気持ちになりました。自分の経験を語ることは勇気のいることですが、練習を重ねたうえ、何よりも「現状を伝えたい、行動をみんなで大きくしていきたい」という想いが強く、自信を持って話すことができました。

印象に残ったことのひとつに若者への教育の大切さが強調されていたことがあります。アイデンティティを形

成するため、少女が社会にある課題に気づき、行動を起こせるようになるために教育がいかに重要かが複数のイベントで訴えられていました。

これまで中高生に Rise Up! リーダーシップワークショップ*を提供してきたことを嬉しく思うと同時に、今回 CSW で得たたくさんの学びや経験、ネットワークを活かしてこれからもワークショップを継続的に実施していきたいと決意を新たにしました。(東上 菜々子)



各国からの参加者と一緒に記念撮影

*世界 YWCA 発行の若い女性が社会を変えるリーダーシップのためのガイドツールである『グローバル・ライズアップ(Rise Up!)・ガイド』を用いたワークショップ。



イベント後の派遣メンバーたち



100周年記念イベント 「プロギング」シリーズを終えて



3月17日、2022年から京都YWCA100周年記念のイベントの一環として行ってきた「プロギング」*の最後を飾って、出町柳から北大路まで賀茂川を往復約4km、2時間弱歩いてゴミ拾いを行いました。

朝10時に叡電の出町柳駅に集合後、出町の鴨川デルタで準備体操をし、それぞれにビブス（Kyoto YWCA since1923と書かれたもの）、ゴミを入れる手提げ袋、火ばさみ、軍手などを配って、いざ出発です。

あいにくお天気はあまりよくなかったものの、河川敷をそれぞれお喋りしながら自分に合ったペースでゴミを拾いました。すれ違う人に「ありがとうございます」と言ってもらえた時には、YWCAの宣伝になったと嬉しくなりました。初めは別々にゴミ拾いをしていた小学生二人は、往路になる頃には仲良くなって一緒に走りまわっていました。



7回目までは土曜日の朝8時に集合して、周辺の地域、特に堀川通や第二日赤病院・京都府庁前を中心にゴミ拾いを行いました。

植え込みの中やコインパーキングはゴミの量が多く、また、いまだにタバコのポイ捨てをする人が多いことにも驚きました。一方、住宅の前の道はいつもきれいに清掃されていてほとんどゴミがないことにも感心しました。

たくさんの人に参加してもらって交流したいという思いで始めましたが、参加人数は次第に減り、同じ顔ぶればかりとなりました。そこで、「イベント性のあるプロギング」として、日曜日、歩いて気持ちのいい楽しい場所として8回目は秋の山科疎水沿いと毘沙門堂、9回目は賀茂川を選びました。プロギング後は共に食事もし、交流の場ともなりました。今後は運営委員会に引き継がれます。新たなプロギングに企画が楽しみです。

*プロギングとは、ゴミ拾いとジョギングをかね合わせたスウェーデン発のフィットネスです。（プロギングジャパン HP より）

（安藤 いづみ）



園児と楽しむ「夏みかんプログラム」

京都YWCA あじさい保育園の園庭には夏みかんの樹があります。3月12日、この夏みかんを使ったプログラムを3、4、5歳児クラスで行いました。まず京都YWCA会員から「夏みかんをお風呂に入れましょう」と洗い方の説明がありました。その後、腕まくりをして一人ずつ、夏みかんを洗っていきます。「手が夏みかんのにおいになった！」と賑やか。お次は試食タイム。5歳児は分厚い外皮をむくことからチャレンジ。あまりのすっぱさに泣き出す園児もいましたが、お皿に残った果汁もすすり飲むぐらいいきれいに平らげた園児もいました。

翌13日には会員が夏みかんを京都YWCA名物マーマレードに加工する工程を見学し、できあがったマーマレードがおやつに提供される日を心待ちにする園児たちでした。（岡 佑里子）



マーマレードづくりを見学する園児たち

小学生のための子どもの居場所 「ガジュマルの樹」

京都YWCAでは、長期休みの1日に小学生の居場所プログラムを行っています。3月27日には総勢34名が集まり、ピザづくりと「えいごであそぼう」に取り組みました。ピザは手軽でオイシイ軽食として人気ですが、一から作るのは大変です。手をべたべたにして、生地をひたすらこねこねこねこね。使い慣れない包丁やピーラーで野菜を慎重に切っていきます。苦勞の甲斐があって、ふっくらふんわり、トッピングてんこ盛りのほかほかピザができました！

お腹も心も満足した後は、カーボベルデ共和国出身のレイサさんのお話とお買い物ごっこです。京都YWCAの多文化ルーツの子どもプログラムの参加者や英語クラスの受講生もいて、生き生きと輝く表情が溢れていました。



（別所 加恵）

自分で作ったピザ、「いただきま〜す！」

「うららかふえ」こぼればなし

ランチは、主菜はもちろん副菜にも注目してほしい。定番だけど普段と違う美味しさだったり、日頃の食卓には並ばないものだったり、発見がある。

どの味が刺さるか人それぞれ。「家でも作ってみた」「私が食べてきた中で一番！」と作った方に後日お伝えすると、「え？私、それ作ったっけ？」ということもしばしば。もう一度食べたいと思ってもいつになるのかわからない、それを心待ちにする楽しさもある。もしかしたらそれっきりかもしれない。要望に応じてくださり再登場した時の嬉しさ。作られる特色ある料理は作り手各々がお持ちのレシピで、お互いに「あれってどうやって作るの」というやりとりがある。レシピがあってもその通り再現できないものもあるが、それを知る機会があればなあ、どんな形で実現しようかと妄想する日々です。（うららかふえボランティア）



今後のプログラム

◎親子でスイーツ♪

昨年大好評だったプログラムが再び開催されます！
本格スイーツを親子で作って楽しみましょう♪

- 日 時：2024年6月29日（土）13：00～15：00
- 会 場：京都 YWCA 本館
- 講 師：辻出綾子さん（MAISON DE AYAKO 主宰）
- 対 象：年中（4歳児）～小学3年生と親 ※10組限定
- 参加費：2,500円（おとなと子ども各1名分の材料費込み）
※子どもひとり当たり300円、おとな500円で追加可能
- 申込み：6月22日（土）までに京都 YWCA 事務局へ

3・4月／理事会報告

- 3/17：100周年記念最終イベントとして鴨川にてプロギング実施（本誌3P参照）
- 3/23：LA（ローカル・アクション）第3期「多様な人々が集う居場所づくり」相互訪問プログラムとして福岡YWCA訪問
- 京都YWCA あじさい保育園：3/23育ちを祝う会（卒園式）、3/30出会いを喜び会（入園式）実施



100周年記念募金の目標達成へのお礼



2021年4月より3年間実施して参りました京都YWCA100周年記念募金は、お陰様で目標額の1000万円を達成することができました。多くの皆様からの温かいご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

いただいたご寄付は現在進めている「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業をさらに前進させるために有効に活かしていきたいと思っております。

100周年記念最終達成額：10,519,949円

今後も京都YWCAの事業へのご支援をお願い申し上げます。
ご寄付は事務所窓口にて、あるいは郵便振替をご利用ください。

郵便振替 01080 - 9 - 1566
加入者名 公益財団法人京都 YWCA

現在進めている「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業全体へは以下のサイトよりオンラインでもご寄付いただけます。

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

また、賛助員となって持続的に京都YWCAをお支えいただく方を募集しています。

賛助費（年額）個人：5,000円もしくは10,000円
団体：10,000円/ー口



京都YWCAへのご寄付および活動指定募金等の詳細は事務所にお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。
<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

ご協力ありがとうございました

2024年2月1日から2024年3月31日 寄付者一覧（敬称略、順不同）

各指定寄付

***法人支援**
安田順子、日本キリスト教団丸太町教会、日本キリスト教団平安教会、日本キリスト教団京都御幸町教会、日本キリスト教団京都南部地区、同志社中学校・高等学校宗教部、山本いづみ

***100周年記念募金**
郡宏美、重谷秀星、安藤いづみ、小林聡、有田孝子、岡佑里子、河野伴子、中島千恵子、一色光世、上村達郎、平野富希、青野美佐江

***多文化共生委員会**
森田正樹、有田孝子、日本キリスト教団室町教会

***APT**
上内鏡子、田中順子、泉谷直木、有田孝子、北垣由民子、森田正樹

***保育園**
匿名、明石好蔵

***うららかふえ**
河野伴子、御前麻里

***ユース委員会**
クラトミカ、松坂有佳子、安藤いづみ、御前明美、別所加恵、藤原玲子

***自立援助ホーム「カルーナ」**
小杉總子、日本聖公会聖アグネス教会、同志社女子大学宗教部、日本キリスト教団丸太町教会シオン会、泉谷直木、桑畑祐治、日本キリスト教団丸太町教会、都木かおり、長瀬正子、雀部真理、匿名、鶴崎祥子、小沢晴美、カトウショウ、打田治枝、吉田紀子

***賛助費**
上内鏡子



- 3/30：100周年記念事業終了の慰労と交流の集い開催
- 100周年記念シンポジウムからの提言をSNSで公開
- 4/27：世界YWCA会員日集会を大阪YWCA、神戸YWCAとの共同企画としてハイブリッドで実施
- 公益財団法人京都YWCAの定款の一部変更を協議

<p>KYOTO YWCA No.580 2024年5月号（5月1日発行）</p> <p>発行人：上村諭巳子 発行所：公益財団法人京都YWCA 〒602-8019 京都市上京区室町通水上上ル近衛町44</p>	<p>電 話：(075)431-0351 F A X：(075)431-0352 e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp H P：http://kyoto.ywca.or.jp</p>	<p>郵便振替：01080-9-1566 口座名義：(公財)京都YWCA 定 価：1部50円 発 行：奇数月1日発行</p>
---	---	--